

会 議 録

1 会議名

令和3年度第6回新道区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 協議事項（公開）

○自主的審議のテーマについて

- 1) 全体会議（自主的審議のまとめ方）
- 2) グループワーク
- 3) 全体会議（結果の共有）

3 開催日時

令和4年3月4日（金）午後6時から午後7時35分まで

4 開催場所

新道地区公民館 多目的ホール

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：秋山 茂、飯塚幸太郎（副会長）、井澤 愛、金井 正、佐藤三男、杉田榮作、千町健実、高野ゆかり、塚田仁子（副会長）、船崎 聡（会長）、本城敏男、三浦正郎、横山明夫（欠席1人）
- ・事務局：中部まちづくりセンター：小林センター長、藤井係長

8 発言の内容

【藤井係長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【船崎会長】

- ・会議録の確認者：秋山委員

次第 2 議題「(1) 協議事項」の「自主的審議のテーマについて」の「1) 全体会議（自主的審議のまとめ方）」に入る。事務局より説明を求める。

【小林センター長】

- ・スライドに基づき説明

【船崎会長】

今の説明に質疑を求める。

【佐藤委員】

地域協議会委員と他の 7 つの組織で団体を作ったという説明があった。要は実行部隊を作ったということか。

【小林センター長】

頸城観光協会の「大池・小池の観光資源としての利活用事業」において、『「大池・小池を元気にする会」を設立し、協議。（地域協議会を含む関係 8 団体 18 名で構成）』とのことである。

【佐藤委員】

その団体とは、どういった団体のことか。

【小林センター長】

本日は資料を持ち合わせていないため、記憶で説明するが、構成団体には、地域協議会のほか、「まちづくり振興会」や「町内会長連絡協議会」など、各区にあるような既存の団体が入っていたと思う。

【佐藤委員】

主には町内会ということか。

【小林センター長】

町内会も確かメンバーにあった。記憶をもとにした説明で申し訳ないのだが、頸城にはスポーツクラブなどもある。

【佐藤委員】

「地域協議会委員+地域団体 7 組織」とのことであり、地域協議会委員は分かるのだが、例えば、町内会が主体ということではなく、いろいろな団体関わっているということか。

【小林センター長】

そうである。

確かに町内会に入る。それ以外にも頸城区で網羅されると思われる団体に声かけをして、スポーツ関係・文化関係等を含め8団体を集めたということである。また、頸城区に大きな企業があるため、そういったところも設立の段階では参加していたと思う。

この事例としては、民間団体から広く賛同者を集めていたということが言える。

【船崎会長】

他に質問等あるか。

(発言なし)

以上で次第2 議題「(1) 協議事項」の「自主的審議のテーマについて」の「1) 全体会議（自主的審議のまとめ方）」を終了する。

次に次第2 議題「(1) 協議事項」の「自主的審議のテーマについて」の「2) グループワーク」に入る。事務局より説明を求める。

【藤井係長】

- ・グループワークの班分けについて説明

【船崎会長】

今の説明に質疑を求める。

(発言なし)

これよりグループワークを開始する。

ー グループワーク（50分間） ー

【船崎会長】

会議を再開する。

次第2 議題「(1) 協議事項」の「自主的審議のテーマについて」の「3) 全体会議（結果の共有）」に入る。事務局より説明を求める。

【藤井係長】

- ・今後の進め方について説明

【船崎会長】

事務局の説明にもあったように、本日は全体で絞り込みまで行うことは難しいと思うため、各グループの発表と、それに対する意見等を求めたいと思う。

まず、Aグループより発表願う。

【千町委員】

資料1記載の6つの課題と特徴について、それぞれ委員の意見を聞いた。

最初に課題の「通学路の安全確保」、主に「県道板倉直江津線の整備について」である。

まず、富岡から大日辺りについて、まだ完全ではないが、順次、整備されてきている。1番問題なのは、稲田から鴨島三叉路までの道路である。これは新道地区町内会長協議会全体においても、同じ議題が出ている。

板倉直江津線の整備と、2番目の「快適な生活環境の確保」との絡みがあるため発言するが、空き家については、稲田交差点の商店街、雁木通りのところに1番空き家が多い。現在は問題ないが、今後、5年先には問題があるように思っている。

また、稲田は長屋が特に多いということで、一斉雪下ろしの問題がある。「環境衛生」についても、長屋が多いとごみの問題がある。これは町内会としても考えなければならないことである。

現在は、稲田の交差点に右折レーンがないという発言もあったが、Aの「通学路の安全確保」は先ほど言ったとおりであるので、まずは「快適な生活環境の確保」を自主的審議のテーマに取り上げてはどうかと考えた。

「まちの活力の維持・向上」については、町内会活動としてやるべき問題が多々あると思う。いろいろなイベントを行うにしても、人口の多い町内と少ない町内で資金的な問題も出てくる。

もう1つは、資料1にも記載されているように、地域が南部、中部、北部に分かれており、交流がないということである。これもまた、新道地区全体として支援する方向で、例えば、新道地区町内会長協議会等でも整理、検討中である。

もう一つ、「子育て環境の充実」については、「新道地区の集会施設が新道地区公民館のみとなるため、対策が必要ではないか」ということで、Aグループではこれも自主的審議のテーマとして取り上げるべきではないかと思った。

次に「災害等による被害の防止・軽減」である。「水害」については、特に関川河川の問題ではなく、中部・南部・北部を含めて、それぞれの町内で内水はん濫の問題が考えられる。どういったかたちで取り組んでいくか、いろいろな対応策があるが、これも自主的審議のテーマとして取り上げるということになった。

Aグループとしては、1つ目が「快適な生活環境の確保」、2つ目が「まちの活力の維持・向上」「子育て環境の充実」「集会施設の充実」をまとめて1つの審議テーマとし、3つ目が「災害等による被害の防止・軽減」、この3つを自主的審議のテーマとして取り上げたいということでまとまった。

【船崎会長】

次にBグループより発表願う。

【本城委員】

Bグループでは、資料1に記載されているすべての項目については、話をしなかった。特に、水害対策にある「揚水ポンプ」等は予算もかかり、国・県・市等の問題もある。県道についても話が出た。

Bグループとしては、今すぐ形になる話ではないが、桜並木などの並木を造る等、「河川敷の有効活用」を自主的審議のテーマとしてはどうかとの結論に至った。

【船崎会長】

両グループの発表について、質疑を求める。

(発言なし)

Aグループからは大きなテーマとして3つ挙がっていた。Bグループからは1つのテーマが挙げられた。これらの意見を一旦持ち帰り、次回の会議で改めてテーマを絞りたいと思う。

以上で次第2議題「(1) 協議事項」の「自主的審議のテーマについて」の「(3) 全体会議（結果の共有）」を終了する。

次に次第2 議題「(3) その他」に入る。

本日の議題に関して、何かあるか。

(発言なし)

以上で「(2) その他」を終了する。

最後に、次第3「その他」の「(1) 次回開催日の確認等」に入る。事務局より説明を求める。

【藤井係長】

- ・次回の協議会について説明

【船崎会長】

— 日程調整 —

- ・次回の協議会：3月24日（木）午後6時から 新道地区公民館 多目的ホール
- ・内容：自主的審議等
最後に何かあるか。

【藤井係長】

- ・令和4年度 地域活動支援事業 事前説明会の日時、会場について説明

【船崎会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。